

令和7年度
事業報告書

令和8年5月
一般財団法人 西日本産業衛生会

令和 7 年度事業報告書

<はじめに>

令和 7 年から令和 8 年にかけての我が国の経済は、長年続いたデフレ局面を脱し、「金利ある世界」が定着する中で、賃金上昇と物価高騰が併存する新たな局面へと移行しています。

高市政権の誕生により、成長重視および積極的な財政運営を基調とした政策方針が明確化され、経済基盤の強化が進められています。一方で、海外経済や金融政策を巡る不確実性は依然として残っています。

また、超高齢社会の進展により医療需要は今後も増大することが見込まれており、医療機関には持続可能性を見据えた経営対応がこれまで以上に求められています。

こうした状況の中で、当財団は内部統制の整備とコンプライアンスの強化に向けた施策を実施してきました。また、協会けんぽ・人間ドックの受け入れ対策をはじめとする収益力向上策を積極的に進め、これらの取組を踏まえて令和 7 年度に 3 か年の中期経営計画を策定し、損益、設備投資、資金収支、採用および内部統制を含む将来像を明確化しました。

以下に令和 7 年度の事業活動について記述いたしますが、厳しい経営環境の中、関係各位のご理解とご協力により、延べ受診者数は 55 万人に達しました。各部門で相応の、実績を残すことが出来たことを厚くお礼申し上げます。

1. 内部体制の整備

(1) 内部統制の整備と業務改善への取り組み

経営基盤を盤石にするため、監査室の新設、コンプライアンス委員会の運営、内部監査手法の見直しなどを通じて内部統制の整備を進め、プライバシーマークを再取得しました。あわせて、本部および各施設に業務改善推進委員会を新設し、業務効率化・生産性向上に向けた体制を整えました。

(2) 専門知識・技能向上への取り組み

健康診断業務に対するニーズの多様化・高度化に対応する為、各種学会・講習会などに積極的に参加し、専門知識・技術・技能の習得に励みました。

全国労働衛生団体連合会・日本産業衛生学会・日本作業環境測定協会・日本総合健診医学会など諸団体が主催する学会・研究会・講習会に、医師・保健師・コメディカル職員等が多数参加し、延べ 882 名が外部研修を受講したほか、社内研修会には延べ 398 名が参加致しました。

(3) 収益力向上に向けた取り組み（主な更新機器は別紙Ⅰのとおりです）

令和 7 年度も、健診内容の充実と精度向上を図るため、各施設の必要に応じて医療機器の新設・増設・更新を行いました。また、胃・胸部 X 線検診車をはじめとする検診車 4 台を更新し、CS（顧客満足度）の向上を図りました。あわせて、北九州産業衛生診療所および福岡健診診療所の増床により受診者の受け入れ体制を強化するとともに、大分労働衛生管理センターの新築移転事業にも着手しました。

2. 事業活動状況（別紙Ⅱに詳しい数値を示しております）

（公益事業）

（1）産業保健事業

働く人々の健康づくり・健康管理のため、契約事業場と協力しながら産業医・保健師活動を行っております。ストレスチェック制度の施行や、長時間労働に対する医師の面接指導の法制度化、有所見率の改善に向けた取組の促進などにより、産業医の活動時間が大幅に増大する一方、全国的な産業医有資格者の不足・偏在によって、産業医有資格者の確保が非常に難しくなっておりますが、当財団では産業衛生学会により、産業衛生専門医研修施設認定を受けるとともに、実践経験豊富な専門産業医および労働衛生コンサルタントによるティーチング制度を導入し、より良質のサービス展開のために産業医・産業保健の品質向上活動を続けています。また地元、産業医科大学の全面的なご協力を得ながら意欲ある優秀な産業医をご推薦いただき、企業ニーズへの対応・最新情報の提供などの活動を展開してまいりました。その結果、契約先数は774事業場となっております。

（2）健康情報発信および相談事業

①無料セミナーの実施

健康および労働環境に関するセミナーを通じて、周辺企業および住民の健康に関する普及啓発活動を行う事を目的としますが、健康企業研究会「東田塾」は、北九州・福岡・大分において延べ9回開催し、187社（延べ数）の参加となりました。その他オンデマンドによるセミナーは、173名の参加となりました。

※開催実績は御覧の通りです。

セミナー名（開催地）	参加企業	開催月	セミナーの内容
働く人と職場の健康づくりセミナー(オンデマンド)	25名	令和7年4月	・人間工学を活用した働きやすい職場づくり
東田塾（大分）	22社	令和7年7月	・高齢化する労働者の体力づくり ～労災を防ぐ～
〃（北九州）	22社		
〃（福岡）	27社		
働く人と職場の健康づくりセミナー（オンデマンド）	33名	令和7年8月	・高齢化する労働者の体力づくり ～労災を防ぐ～
東田塾（大分）	24社	令和7年9月	・発達障害と合理的配慮
〃（北九州）	25社		
〃（福岡）	17社		
働く人と職場の健康づくりセミナー(オンデマンド)	115名	令和7年12月	・発達障害と合理的配慮
東田塾（福岡）	12社	令和8年2月	多発する労働災害を防止するためには～元労働基準監督官の目線での改正法を踏まえた企業の安全衛生管理～
〃（大分）	19社		
〃（北九州）	19社		

②健康情報誌の無償配布

健康情報誌「まもる」を、北九州版・福岡版・大分版に分けて、充実した内容で有用な健康情報を提供継続しました。年間3回17.1万部を発行いたしました。

③健康等に関する相談対応

病気や障害に起因するさまざまな社会生活上の心配事、患者が抱えている問題、悩み等の問題解決のために、社会福祉の立場から看護師及び保健師を相談員として配置し、無料で相談に応じています。

(3) 健診結果等の集計

労働衛生機関として、地域によりよい健康管理サービスの提供を行う為、健康診断結果等を集計分析し、医師・保健師・作業環境測定士・看護師等の専門家が、各種関係団体の研究会・研修会などへ参加して、研究成果を発表しております。また、昨年に引き続き「事業年報」を発刊いたしました。

(主な研究発表は別紙Ⅲの通りです)

(収益事業)

(1) 健康診断事業

基幹事業のひとつである健康診断については、受診者総数延べ550,015人となりました。

健診種別毎の概要は以下の通りです。

①一般健診

225,786人の法定健診を実施し、前年対比では99%となっています。

②協会けんぽ健診

平成19年度より、当財団4施設すべてで実施しています。受診者135,950人となり、前年実績比106%となっています。

③生活習慣病健診

生活習慣に起因する3大疾病の発見を目的として、法定健診にさらに項目を追加した健康診断ですが、受診者は49,323人となり、前年実績比100%となりました。

④ドック健診

一泊ドックを含む総合健診で、多くは当財団と健康保険組合が契約して、組合員・配偶者が受診機関を個人選択する健診です。受診者は27,986人で、前年実績比101%となりました。今後も多様化するニーズの把握と、お客様の満足度の向上に努めます。

⑤PET健診

最先端のがん検診の1つとして、地域での認知度も向上していますが、受診者は4,367人で、前年実績比100%となっております。

平成16年の開設以来、累計受診者は延べ91,298人となりましたが、引き続きPETによるがん検診の有効性を啓蒙し、地域社会からの「がん撲滅」に貢献して

まいります。

⑥付加健診

基本健診に付随するオプション検査ですが、近年特に乳がん・子宮がん等への関心が高まっております。実績件数は延べ 289,726 件、前年実績比 101 %となっています。今後も最新の医療情報に基づいたオプション検査の提供に努めます。

⑦住民健診（含む特定健診）

地元医師会・官公庁との連携を深めその使命を果たしました。但し、遠方の住民健診を効率化の観点より見直し、受診者は 16,974 人となり、前年実績比 99 %となりました。

⑧再検査 ・ 二次検査

一次健診の事後フォローとして、受診者への的確なご案内を心がけております。受診者にご負担を掛けないように一次検査の精度・判定を的確にする努力を今後も続けます。受診者は 187 人と前年実績比 37%となりました。これは、健診機関が二次検査等の精密検査を行う機関としての役割を終えて、当財団もグループ病院等医療機関へ積極的に誘導したことや専門医への受診勧奨を行ったことから、大きく減少したものです。

⑨特殊健診

特殊業務に関しての法令に基づく健診ですが、企業外労働衛生機関として、必要な健診を産業医・保健師・また労働衛生コンサルタントと連携し的確に支援することは重要な業務のひとつと考えております。受診者は 89,442 人、前年実績比で 104%となりました。

⑩外来診療

受診者は 457 人、前年実績比では 80%となりました。これは、健診受診者増加に伴い、一般外来の診察や投薬の処方箋作成等を制限したのが要因です。

(2)環境測定事業

作業環境・煙道排ガス・石綿その他の分析・測定業務に取り組んでおります。作業環境測定については 16,071 件(前年比 113%)、石綿については、2,742 件（前年比 76 %）となりました。

また、平成 24 年度に大阪以西では初めての認定機関となった作業環境測定士登録講習については年間 19 回 ・ 合計 199 名の講習を実施したほか、26 年度から開始した作業主任者技能講習についても年間 23 回 ・ 合計 736 名の講習を実施しました。

冒頭に記述致しましたとおり、厳しい経営環境の中、業務全般に亘って概ね計画通り達成できました。

今後とも関係各位の皆様の変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げまして、令和 7 年度の事業報告とさせていただきます。

別紙 I

令和 7 年度 主要設備機器の整備状況

	物件名称	数量	取得年月	区分
北九州健診診療所				
(設備)				
	・ 本部ビル1・2Fセキュリティゲート一式	1	2025. 10	新規
	・ 1・2階トイレ改修工事	1	2026. 2	改修
(機器)				
	・ 超音波診断装置 ARIETTA750SE	2	2025. 5	更新
	・ 1・2F監視カメラ一式	1	2025. 10	新規
PET健診センター				
(設備)				
	・ 空調設備更新 (ビルマルチ系統)	1	2025. 6	更新
	・ PET棟セキュリティゲート一式	1	2025. 10	新規
(機器)				
	・ サイクロトロシステム 機械系更新①	1	2025. 8	更新
	・ サイクロトロシステム 機械系更新②	1	2025. 11	更新
	・ サイクロトロシステム 機械系更新③	1	2026. 1	更新
北九州産業衛生診療所				
(設備)				
	・ バス車庫充電器電源工事	1	2025. 8	増設
	・ WiFi環境新設工事	1	2025. 9	新規
(車両)				
	・ 胸部X線検診車 (26号車)	1	2025. 10	更新
	・ 胸部X線検診車 (35号車)	1	2025. 11	更新
	・ 胃部X線検診車 (57号車)	1	2026. 3	更新
(機器)				
	・ 聴力検査用ボックス AT-64	1	2025. 4	更新
	・ オージオメーター AA-M1C	1	2025. 4	更新
	・ 振動感覚計 AU-02B	1	2025. 4	更新
	・ 骨密度測定装置 ALPHYS A	1	2025. 5	更新
	・ 心電計 C340BX	2	2025. 6	更新
	・ スパイロメーター HI-801	2	2025. 7	更新
	・ 超音波診断装置 ARIETTA750SE	1	2025. 7	更新
	・ デジタル眼底カメラ CR-2AF	1	2025. 8	更新
	・ 巡回通過管理システム用サーバー	1	2025. 12	新規
	・ 発動発電機 Onan5. 5Kva	1	2025. 12	更新
大分労働衛生管理センター				
(車両)				
	・ 胸部検診車 (新30号)	1	2025. 5	更新
(機器)				
	・ 超音波診断装置 ARIETTA650	1	2025. 4	更新
	・ フルオート非接触眼圧計 TX-20P	1	2026. 3	更新
	・ 巡回通過管理システム用サーバー	1	2025. 12	新規

福岡健診診療所

(機器)

・ 上部消化管汎用ビデオスコープ GIF-1200N	1	2025.	6	新規
・ 大腸ビデオスコープ CF-XZ1200I	1	2025.	6	新規
・ 超音波診断装置 Aplio a Verifia	1	2025.	7	更新
・ 超音波診断装置 SONOVISTA GX20	1	2025.	10	更新
・ 天井壁掛型空調機 SSRA56CV	2	2025.	6	更新

環境測定センター 八幡事業部

(機器)

・ ICP発光分光分析装置 Agilent5800	1	2025.	5	更新
・ ガスクロマトグラフ Agilent-8890	1	2025.	6	更新

環境測定センター 大分事業部

(機器)

・ 普通騒音計 NX-43EX	4	2025.	5	新規
・ 高速液体クロマトグラフ Vanquish_Core	1	2025.	10	更新
・ 分光光度計 UH5210	1	2025.	10	更新
・ 高速液体クロマトグラフ Vanquish_Core	1	2025.	12	更新
・ ガスクロマトグラフ用ガスインジェクタ G-5075W	1	2026.	3	更新

事務センター・本部

(機器)

・ 読影用端末 5M2面カラー	1	2025.	7	新規
・ 複合機 RICOH IMC 5510F	1	2025.	10	更新

＜事業活動状況＞ (公益事業)

区 分		令和6年度実績	令和7年度計画	令和7年度実績	前年対比	備考
(1)産業保健事業	実施事業場	765	785	774	101%	
(2)健康情報発信	健康情報誌	180,000	171,000	171,000	95%	発行部数

(収益事業)

区 分		令和6年度実績	令和7年度計画	令和7年度実績	前年対比	備考
健康診断	一 般 健 診	228,135	230,412	225,786	99%	人員
	協 会 け ん ぽ 健 診	127,894	127,223	135,950	106%	〃
	生 活 習 慣 病 健 診	49,248	48,252	49,323	100%	〃
	ド ッ ク 健 診	27,760	27,773	27,986	101%	〃
	P E T 健 診	4,363	4,380	4,367	100%	〃
	付 加 健 診 (注)	(286,470)	(265,607)	(289,726)	101%	件数
	特 定 ・ 住 民 健 診	17,202	32,370	16,974	99%	人員
	再 検 査 ・ 二 次 検 査	509	447	187	37%	〃
	特 殊 健 診	85,921	99,958	89,442	104%	〃
	外 来 診 療 (注)	(570)	(490)	(457)	80%	〃
合 計		541,032	570,815	550,015	102%	(注)延べ受診人員
環境測定	作 業 環 境	14,255	14,498	16,071	113%	件数
	煙 道 ガ ス	622	607	1,081	174%	〃
	石 綿	3,630	4,071	2,742	76%	〃
	そ の 他	19,027	18,945	19,327	102%	〃
合 計		37,534	38,121	39,221	104%	件数

(注)：健康診断合計には、()内数値(付加健診及び外来診療)を除き、一般健診については有害業務従事者の重複健診、協会けんぽについては付加健診・がん健診ほかの重複受診者を含む延べ人員を表示。

< 事業活動内訳 >

(1) 健康診断

区分	科目名	令和6年度実績	令和7年度計画	令和7年度実績	備考
一般健診	定期①	159,451	162,487	157,401	
	定期②	14,476	14,912	13,204	
	特定業務	45,474	43,100	46,338	
	雇入時健診	8,734	9,913	8,843	
	小計(一般健診)	228,135	230,412	225,786	
協会けんぽ健診	一般健診	104,325	99,507	104,325	
	付加健診	8,402	6,676	8,402	
	乳がん	8,717	8,016	8,717	
	子宮がん	11,683	11,450	11,683	
	肝炎ウィルス検査	2,823	1,574	2,823	
	小計(協会けんぽ健診)	135,950	127,223	135,950	
	生活習慣病健診	49,323	48,252	49,323	
ドック健診	日帰り人間ドック	27,033	27,044	27,210	
	一泊ドック	727	729	776	
	小計(ドック健診)	27,760	27,773	27,986	
	PET健診	4,363	4,380	4,367	
	付加検査(オプション)	286,470	265,607	289,726	
	特定・住民健診	17,202	32,370	16,974	
	再検・二次検査	509	447	187	
特殊健診	じん肺	8,928	8,358	8,404	
	歯牙	1,624	1,734	1,824	
	鉛	720	752	811	
	有機溶剤	17,128	23,587	17,706	
	特定化学物質	28,790	33,110	29,641	
	高気圧	351	396	411	
	電離放射線	3,061	2,755	3,465	
	石棉	2,653	2,648	2,823	
	その他特殊	22,408	26,294	24,107	
	特殊二次	35	86	24	
	管理手帳	223	238	226	
	小計(特殊健診)	85,921	99,958	89,442	
	小計(外来)	570	490	457	

(2) 環境測定

	科 目	令和6年度実績	令和7年度計画	令和7年度実績	備考
作業環境	粉じん	2,384	2,570	2,629	
	特定化学物質	4,052	4,317	4,627	
	金属	882	853	882	
	有機溶剤	3,953	4,228	4,768	
	騒音	1,276	1,400	1,295	
	照度	19	7	26	
	事務所管理	80	64	74	
	局所排気定期点検	815	466	1,110	
	作業環境診断	15	31	15	
	その他	779	562	645	
	小 計	14,255	14,498	16,071	
煙道排ガス	煤じん	136	121	156	
	(特検)鉛	125	85	156	
	窒素酸化物	141	105	166	
	その他	220	296	603	
	小 計	622	607	1,081	
その他	排水	498	506	531	
	飲料水	43	43	51	
	産業廃棄物	61	46	72	
	その他	7,175	6,583	7,413	
	(特検)有機溶剤	11,250	11,767	11,260	
	石棉	3,630	4,071	2,742	
	小 計	22,657	23,016	22,069	
	合 計	37,534	38,121	39,221	

別紙Ⅲ

令和7年度 研究発表 概要

健診部門（研究発表）

- | | | |
|-------|-----|---|
| (1) 日 | 時 | 2025年9月27日（土） |
| 場 | 所 | J：COMホルトホール大分 |
| 講 | 演 | 会 日本消化器がん検診学会 第54回九州地方会 |
| 発 | 表 題 | 名 膵尾部の形状と脾門部との関係のCTにおける検討及び脾門部からの超音波描出の現状の評価 |
| 発 | 表 | 者 大分労働衛生管理センター 検査技師 森本 恵 |
| | | |
| (2) 日 | 時 | 2025年9月27日（土） |
| 場 | 所 | J：COMホルトホール大分 |
| 講 | 演 | 会 日本消化器がん検診学会 第54回九州地方会 |
| 発 | 表 題 | 名 大分労働衛生管理センターにおける腹部超音波検診成績の検討 |
| 発 | 表 | 者 大分労働衛生管理センター 検査技師 佐藤 諭加子 |
| | | |
| (3) 日 | 時 | 2025年11月28日（金） |
| 場 | 所 | あわぎんホール（徳島市藍場町2-14） |
| 講 | 演 | 会 第35回 日本産業衛生会 全国協議会 |
| 発 | 表 題 | 名 企業外労働衛生機関によるストレスチェックをふまえた職場環境改善の現状と課題 |
| 発 | 表 | 者 北九州産業衛生診療所 保健師 川副 愛子 |
| | | |
| (4) 日 | 時 | 2026年1月24日（土） |
| 場 | 所 | 大名カンファレンス（福岡市中央区大名 2 丁目 6-50 福岡大名ガーデンシティ・タワー） |
| 講 | 演 | 会 第2回日本産業衛生学会産業保健看護部会学術集会 |
| 発 | 表 題 | 名 船員の健康課題と今後の支援の方向性～生活習慣アンケート結果より～ |
| 発 | 表 | 者 北九州産業衛生診療所 保健師 台信 美咲 |
| | | |
| (5) 日 | 時 | 2026年1月24日（土） |
| 場 | 所 | 大名カンファレンス（福岡市中央区大名 2 丁目 6-50 福岡大名ガーデンシティ・タワー） |
| 講 | 演 | 会 第2回日本産業衛生学会産業保健看護部会学術集会 |
| 発 | 表 題 | 名 企業外労働衛生機関における保健師教育体制について～事業場担当に向けた初任者教育を中心 |
| 発 | 表 | 者 北九州産業衛生診療所 保健師 大島 千紗 |
| | | |
| 日 | 時 | 2026年1月24日（土） |
| 場 | 所 | 大名カンファレンス（福岡市中央区大名 2 丁目 6-50 福岡大名ガーデンシティ・タワー） |
| 講 | 演 | 会 第2回日本産業衛生学会産業保健看護部会学術集会 |
| 発 | 表 題 | 名 企業外労働衛生機関が提供するストレスチェック |
| | | ～中小規模事業場の実施事務従事者が回答情報・同意のない結果を把握しない仕組みづくり～ |
| 発 | 表 | 者 北九州産業衛生診療所 保健師 相川 奈々 |

環境部門

- | | | |
|--------|-----|---|
| (1) 日 | 時 | 2025年6月26日（木）～2025年6月27日（金） |
| 場 | 所 | 佐賀県佐賀市天神 2 丁目 1 番 2 6 号 ホテルグランデはがくれ フラワーホール A B |
| 学会・研究会 | 名 | 令和7年度九州支部作業環境測定技術研修会 |
| 発 | 表 題 | 名 騒音職場に騒音職場における作業環境測定の結果と、イヤーフिटテストの実施例題について |
| 発 | 表 | 者 環境測定センター北九州事業部 環境測定士 市後崎 隆則 |

- (2) 日時 2025年6月26日（木）～2025年6月27日（金）
 場所 佐賀県佐賀市天神2丁目1番26号 ホテルグランデはがくれ フラワーホールA B
 学会・研究会名 令和7年度九州支部作業環境測定技術研修会
 発表題名 化学物質の自律的な管理における当センターの取り組みと今後の課題
 発表者 環境測定センター大分事業部 環境測定士 廣瀬 大輔
- (3) 日時 2025年6月26日（木）～2025年6月27日（金）
 場所 佐賀県佐賀市天神2丁目1番26号 ホテルグランデはがくれ フラワーホールA B
 学会・研究会名 令和7年度九州支部作業環境測定技術研修会
 発表題名 化学物質の自律的な管理における当センターの取り組みと今後の課題
 発表者 環境測定センター大分事業部 環境測定士 古谷 祐太
- (4) 日時 2025年7月4日（金）
 場所 横浜市港北区新横浜2-15-12 共立新横浜ビル6F バイオコミュニケーションズ(株)別館 大会議室
 学会・研究会名 有害要因の自律的な管理部会セミナー「ノイズ～その大きな脅威～」
 発表題名 騒音職場における作業環境測定の結果と、イヤーフिटテストの実施例題について
 発表者 環境測定センター北九州事業部 環境測定士 市後崎 隆則
- (5) 日時 2025年10月29日（水）～2025年10月31日（金）
 場所 北海道旭川市7条通9丁目 OM07旭川by星野リゾート
 学会・研究会名 第46回日本作業環境測定協会学術大会
 発表題名 騒音職場における作業環境測定の結果と、イヤーフिटテストの実施例題について
 発表者 環境測定センター北九州事業部 環境測定士 市後崎 隆則
- (5) 日時 2025年10月29日（水）～2025年10月31日（金）
 場所 北海道旭川市7条通9丁目 OM07旭川by星野リゾート
 学会・研究会名 第46回日本作業環境測定協会学術大会
 発表題名 化学物質の自律的な管理における当センターの取り組みと今後の課題
 発表者 環境測定センター大分事業部 環境測定士 廣瀬 大輔
- (6) 日時 2025年10月29日（水）～2025年10月31日（金）
 場所 北海道旭川市7条通9丁目 OM07旭川by星野リゾート
 学会・研究会名 第46回日本作業環境測定協会学術大会
 発表題名 化学物質の自律的な管理における当センターの取り組みと今後の課題
 発表者 環境測定センター大分事業部 環境測定士 長田 良明

産業保健部門（研究発表）

- (1) 日時 2025年5月17日（土）
 場所 仙台国際センター
 講演会 第98回日本産業衛生学会 シンポジウム
 発表題名 小規模事業場へ産業保健サービスの提供を拡大するために～企業外労働衛生機関の立場から～
 発表者 財団本部 保健師 白石 明子
- (2) 日時 2025年11月27日（木）
 場所 あわぎんホール
 講演会 日本産業衛生学会 全国協議会 フォーラム
 発表題名 全ての産業保健スタッフが元気に働けるように！ 産業保健師として関わる学会活動
 発表者 財団本部 保健師 白石 明子

産業保健部門（著作）

- (1) 刊行物名 産業医の職務 Q&A 第11版 産業医の職務Q&A編集委員会編
3. 作業管理 ④作業姿勢の評価と適性化、⑦健康診断結果の作業管理への活用
発表者 公益財団法人 産業医学振興財団
執筆者 財団本部 医師 渡邊 聖二

健診部門（論文）

- (1) 刊行物名 Frontiers in Psychiatry. 06 May 2025
発表題名 Affective temperaments and light preference.
執筆者 Hirofumi Hirakawa, Takeshi Terao, Kentaro Kohno, Akari Sakai, Nobuko Kawano
- (2) 刊行物名 Frontiers in Psychiatry. 22 September 2025
発表題名 Associations between Cloninger's temperament and character traits and light preference.
執筆者 Hirofumi Hirakawa, Takeshi Terao, Kentaro Kohno, Akari Sakai, Nobuko Kawano
- (3) 刊行物名 Frontiers in Global Women's Health. 12 September 2025
発表題名 Associations between intelligence, affective temperament, and parental bonding with educational level.
執筆者 Hirofumi Hirakawa, Takeshi Terao, Kentaro Kohno, Akari Sakai, Nobuko Kawano